

第14回 基幹研修 I in 東京

オンライン開催

～ソーシャルワーカーとしてあり続けるために～

【日 時】 2021年10月16日（土）

【開催方法】 Zoomによるオンライン開催

主催 一般社団法人 東京精神保健福祉士協会 <http://www.tokyo-psw.com/>
(公益社団法人日本精神保健福祉士協会 委託事業)

参加のお誘い

【基幹研修 I とは？】

日本精神保健福祉士協会は、専門職団体として、精神保健福祉士の職務に関する知識・技術ならびに倫理・資質の向上を図ることを目的として2008年に生涯研修制度を創設しました（この制度の概要は日本精神保健福祉士協会のHP等でご確認ください）。このうち基幹研修 I（本研修）はおおむね入会から3年未満の構成員を対象としており、東京精神保健福祉士協会が事業を受託しております。

第14回研修を下記要綱で開催いたします。「基幹研修 I」受講対象の皆さま、どうぞご参加ください。

【日程・プログラム】 <10月16日（土）>

- 9:15～9:35 受付（オンライン受付）
- 9:35～9:45 開講式 挨拶・オリエンテーション
- 9:45～11:15 講義 I 「公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題」
講師 松永実千代（社会福祉法人 特別区社会事業団）
- 11:15～11:30 休憩（15分）
- 11:30～13:00 講義 II 「精神保健福祉士の専門性 I」
講師 三木良子（帝京科学大学）
- 13:00～14:00 昼食休憩（60分）
- 14:00～15:30 講義 III 「精神保健福祉士の実践論 I」
講師 山本和弘（昭和大学横浜市北部病院）
- 15:30～15:45 休憩（15分）
- 15:45～17:15 演習 I 「グループワーク」
- 17:15～17:30 閉講式

◆◆ 定 員 ◆◆ 40名 (先着順です。定員になり次第、締め切ります。)

◆◆ 研修費用 ◆◆

参加費 5,500円

テキスト費 2,500円

計 8,000円

第1版(旧テキスト)をお持ちで、
且つ日本精神保健福祉士協会構
成員の方は割引価格1,500円

※ 当日のテキストとなる「生涯研修制度共通テキスト」は、全1冊・B5サイズの第2版(2013年度発行:白地に青色の表紙)または改訂第2版(2021年度発行:白地に緑色の表紙)となります。ご受講の方は必ずご購入いただきます。旧テキスト(第1版)をお持ちの方も買い替えが必要です。同封のテキスト購入に関する注意事項を御参照ください。

※ 研修費用の指定入金口座は受講決定通知書送付時にお知らせいたします。

※ 原則として参加費の返金はいたしません。やむを得ない事由で、当日欠席された場合は研修後に資料をお送りいたします。

◆◆ 対 象 ◆◆

1. 東京精神保健福祉士協会 会員
2. 公益社団法人日本精神保健福祉士協会東京都支部構成員

※ 日本協会構成員は、ご所属の都道府県支部が属するブロック内での受講が原則です。

※ 日本精神保健福祉士協会非構成員の方で2023年2月末までに入会手続きを済ませた方は、本研修修了が生涯研修制度の研修履歴として認められます。日本精神保健福祉士協会入会申込書と合わせて、修了証書のコピーをお送りください。

◆◆ 申込み方法 ◆◆

申込みにあたり、次ページの「【重要】研修の参加確認(修了要件)・オンライン研修受講の注意事項及びオンライン研修参加についての同意事項について」、同封の「基幹研修Ⅰシラバス」を必ずお読みいただき、研修の趣旨をご理解の上、お申込みくださいますようお願いいたします。

1. 方法

右下のQRコードもしくは、下のURLにアクセスして申込みを行ってください。

※「メールアドレス」の入力においては、必ず研修当日に使用するパソコンやタブレットでメールの送受信が可能なメールアドレスを入力してください。恐れ入りますが、携帯電話のキャリアメール(~@docomo.ne.jp、~@ezweb.ne.jpなど)はご使用にならないでください。

基幹研修Ⅰ申込みフォーム <https://ws.formzu.net/fgen/S90369575/>

※申込みフォームにアクセスしたら項目に入力後、一番下の

「内容確認画面へ」を押してください。

その後、内容確認画面にて確認し、「自分にも送信内容のコピーメールを送る」にチェックを入れて、「送信する」を押して完了してください。



2. 申し込み締切 8/10(火)

(先着順です。定員になり次第、申込みフォームの稼働は停止します。)

◆◆ 申し込み後の流れ ◆◆

1. 東京精神保健福祉士協会より 8/30 の週に申込者へ受講決定通知書を発送。
※ 9/4(土)までに受講決定通知書が届かない場合は、申し込み手続き上で何らかのトラブルが発生している恐れがあります。 当日受講ができませんので、必ず下記のメールアドレスにお問い合わせください。
2. 9/10(金)までに申込者が指定口座へ研修費用を入金（入金をもって受講確定とします）。
3. 9/27 の週に申込者へテキスト・研修資料等を発送。
4. 10/16（土）オンラインにて研修へ参加。

◆◆ 問い合わせ方法 ◆◆

メールで対応させていただきます。原則としてパソコンメールをご使用ください（携帯電話のキャリアメールはこちらからの送信が拒否されるケースが多く見られるため、ご使用にならないでください。）

基幹研修 I 問い合わせ メールアドレス : kensyu@tokyo-psw.com

◆◆ 連絡事項（必ずご確認ください） ◆◆

1. 変更・取り消しなどのご連絡、その他のお問い合わせは全てメール（アドレス）のみでお受けいたします。
2. 研修資料に参加者名簿（演習の班分け）を同封します。本名簿には参加者全員のお名前を掲載させていただきますが、所属先については掲載しません。

【重要】研修の参加確認（修了要件）及びオンライン研修受講の注意事項・オンライン研修参加についての同意事項について（必ずお読みください）

<研修の参加確認（修了要件）について>

1. 基幹研修 I の定める各科目について、15分の遅刻・早退・欠席があった場合は、修了したことになります。研修当日は、時間に余裕をもってご入室ください。万が一、入室できない場合は、研修開始から 15 分までの間に、後日通知する研修当日連絡先まで必ずご連絡ください。
2. オンライン研修では、講義中はカメラをオフ、演習ではカメラをオン（お顔出しが必須）の状態を受講いただきます。
3. 講義の受講確認として、各講義中にスライドで「キーワード」を 1 つ提示します。研修の最後に指定のフォームに「受講番号、氏名、キーワード（各講義 1 つずつ 計 3 つ）」を入力して送信していただきます。後日、キーワードが正しいことを確認できた受講者を本研修の修了者とし、修了証を発行いたします。
4. 上記を満たすことが出来なかった受講者には修了証は発行できませんのでご注意ください。

<オンライン研修受講に際しての注意事項>

- 新型コロナウイルス感染症のリスクを考慮し、WEB 会議ツール「Zoom ミーティング（Zoom）」によるオンライン研修です。集合研修ではありませんのでご注意ください。
- カメラ、マイク機能が備わったパソコンまたはタブレット端末をご用意して受講してください。
- メールアドレスを取得していないパソコンまたはタブレット端末では受講いただけません。
- 自身の氏名（フルネーム）および個人メールアドレスを用意して受講してください。メールアドレスは、Zoom を使用するパソコンやタブレットで送受信可能なメールアドレスとしてください。携帯キャリアメール（@docomo.ne.jp や@ezweb.ne.jp など）は避けてください。

- 受講にかかる通信料は、受講者負担となります。
- 可能な限り、安定したネットワーク環境を用意した上で受講してください。
- WEB ブラウザ経由での受講はいただけません。Zoom アプリのダウンロードが必須です。事前に Zoom ミーティングの接続テスト（ビデオ・スピーカー・マイクテストあり）を必ず実施してください。
【ミーティングテストに参加（Zoom 公式 Web ページ）】→<https://zoom.us/test>
- 研修当日における受講者側の Zoom 接続不具合や通信トラブル等について、事務局では対応できませんが、申し込みが確定した方には事前に Zoom へのアクセス練習を検討しています。詳細は研修資料に同封します。
- 次項の「受講者の同意事項」に同意のうえ、お申し込みください。

<オンライン研修参加における受講者の同意事項>

受講を希望する者は、申込を行った時点をもって以下の諸事項に同意したものとみなします。

1. 東京精神保健福祉士協会（以下、本協会）が発行した受講に必要な情報（ID、パスワード、URL 等）を第三者に漏洩・譲渡等して、受講の権利を第三者に譲渡・使用等させないことの承諾。
2. 研修コンテンツの一部または全部に対し、受講目的以外に利用（複製・転載・改変・編集・再配布・譲渡・撮影・録音・配信などを含む）しないことの承諾。
3. 本協会または他の受講者を含む第三者の名誉・信用・著作権などの知的財産権、肖像権、プライバシーなどを侵害しないことの承諾。
4. 受講に伴う一切の違法行為、嫌がらせ（SNS や各種ホームページサイト上で本協会・受講者・講師などへの誹謗中傷や嫌がらせの書き込みなども含む）、なりすまし等の不良行為の他、公序良俗に反する行為をせず、講義や運営を妨げないことの承諾。
5. 研修中に個人情報を取り扱う場合は細心の注意を払い、受講者間でのレポート等の個人情報を含むデータファイルの送受信は行わないことの承諾。
6. 端末 1 台につき、1 人の参加であることの承諾。
7. 研修中は、オンライン上に自身の顔が表示される場合があることの承諾。
8. 受講者は自己の費用と責任で研修を受講するために必要となるハードウェア、ソフトウェアその他の設備を用意することの承諾。
9. 本協会は研修の品質向上のため、研修（チャットの内容も含む）の録音・録画を行う場合があることの承諾。
10. 研修中に万が一本協会事由により予期せぬ支障（中断、停止、終了、利用不能、障害、データの削除・消失等）が発生した場合、これによって受講者に生じた損害について本協会が賠償責任を一切負わないことの承諾。
11. 研修中に受講者のインターネット回線の状況、パソコン環境、その他の理由により、予期せぬ支障（中断、停止、終了、利用不能、障害、データの削除・消失等）が発生した場合、これによって受講者に生じた損害について本協会は一切責任を負わないことの承諾。
12. 本協会は、以下のいずれかに該当する場合、受講者に事前に通知することなく、研修の一部または全部の停止または中断をすることができる旨の承諾。
 - ①天変地異または第三者の行為により研修開催が困難な状況に陥った場合
 - ②研修の提供に必要な装置、通信回線等が不通、不良による事故等で使用不能となった場合
 - ③その他、やむを得ない事由により、本協会が停止または中断の必要があると判断した場合

テキスト購入に関する注意事項

基幹研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、公益社団法人日本精神保健福祉士協会発行の「生涯研修制度共通テキスト」を使用することが定められており、受講する方は購入が必須となっております。テキストは2013年度に第2版が発行され、2021年度には改定第2版が発行されております。基幹研修を受講される皆様には第2版（全1冊・B5サイズ白地に青色の表紙；下図中央）、もしくは改定第2版（全1冊・B5サイズ白地に緑色の表紙；下図右側）のご準備をお願いしております。テキストについては日本精神保健福祉士協会から個人毎に購入いただくこととなります。

過去に第1版（全3巻、A4サイズピンク色表紙；下図左側）をご購入の方も、改定第2版を購入していただくこととなりますが、その際は、改定第2版（定価2,500円）を割引価格1,500円で販売いたします。改定第2版を割引価格で販売するのは、日本精神保健福祉士協会の構成員であることが条件となっております（構成員でない方は定価での販売です）。

以上をご確認のうえ、基幹研修Ⅰ申込フォームのテキスト所持の記載欄の該当箇所にチェックを入れてお申込みください。テキストは、研修資料と共に郵送いたします。

×第1版



○第2版



○改定第2版



基幹研修Ⅰ シラバス

(公益社団法人日本精神保健福祉士協会・生涯研修制度 基幹研修シラバス (第2版) より一部抜粋)

<獲得目標>

本協会構成員の基本的な知識として、「本協会の歴史と役割」について、我が国における精神科医療・保健福祉の歴史的課題を背景にした国家資格制定にかかわる経緯と専門職団体の使命を踏まえ、現状と課題を理解する。

精神保健福祉士の活動領域と実践の実際を学び、専門職としての主体性を考える機会とするとともに、精神保健福祉士の基本的な「社会的責務」について理解する。

また精神保健福祉士の価値と倫理について再確認し、自らの専門性について深める機会とする。

総じて、所属機関における専門性の発揮に必要な基盤を獲得することを目指す。

<講義1> テーマ：公益社団法人日本精神保健福祉士協会の役割と課題

【目的】

本協会の歴史を学ぶ必要性について理解するとともに、精神保健福祉士として専門職団体に所属する意義について理解を深める。

公益社団法人日本精神保健福祉士協会の歴史を振り返り、国家資格化の経緯を理解するとともに、「Y問題」から構築した精神保健福祉士の価値を理解する。

協会活動を理解し、本協会の役割と今後の課題について理解する。

<講義2> テーマ：精神保健福祉士の専門性Ⅰ

【目的】

精神保健福祉士としての自らの実践が、精神保健福祉士の価値と倫理に基づくものでなければならないことを理解する。

精神保健福祉士としての立脚点を確認するため、医学モデルと異なる視点である生活モデルについて、特にICF（国際生活機能分類）を踏まえて理解する。

精神保健福祉士としての専門性に基づくかわりについて、自己決定の尊重、権利擁護の視点、人と状況との全体関連性と生活者支援の視点から理解する。

本協会の倫理綱領制定の経緯を講義1とも関連させて理解する。

専門職としての研鑽の必要性を再確認し、スーパービジョンの活用方法を理解する。

<講義3> テーマ：精神保健福祉士の実践論Ⅰ

【目的】

精神保健福祉士として求められる基本的な日常業務と役割を理解する。

クライアント（利用者）とのコミュニケーション、ニーズの重要性を再認識し、ソーシャルワークの基本原則に基づいた実践の在り方を理解する。

多様化する活動領域と各領域での実践展開と特殊性を理解するとともに、ソーシャルワーク実践の共通基盤を習得する。

<演習 I >

【目的】

グループ討議を通して

- ・互いに知り合い、支え合う雰囲気づくりを醸成する。
- ・自らの精神保健福祉士としてのあり方や自分の職場を客観視する。
- ・自己の感情や考察を言語化し、自己理解を深めて自らの実践課題を知る。

※詳細なシラバスは公益社団法人日本精神保健福祉士協会ホームページに掲載されております。

<https://www.jamhsw.or.jp/ugoki/kensyu/document/Syllabus-1.pdf>

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 生涯研修制度体系図

